

第4回 長崎性教育コミュニティアスター講演



性教育の

いままで これから

思春期における
障害のある
子どもたちの「性」

2024 10.27(日) 15:30~17:00

会場 オンライン配信 (ZOOM使用) 定員 80名 お申込みQR

講師 門下 祐子 先生 | 京都教育大学
総合教育臨床センター講師

参加費 一般 1,000 円 / 学生 500 円

お申込み先 <https://aster-1027.peatix.com/>

お問合せ aster.0707ngsk@gmail.com



主催：長崎性教育コミュニティアスター 後援：長崎県、長崎市、長崎市教育委員会

第4回 長崎性教育コミュニティ アスター講演

性教育のいま、そしてこれから —思春期における障害のある子どもたちの「性」—

2024年10月27日(日) 15:30~17:00 講師/門下祐子先生(京都教育大学総合教育臨床センター講師)

プログラム

15:30	15:40	16:40	16:55	17:00
開会 アスター活動報告 (10分)	講師による講話 (60分)	参加者による意見交換 (15分)	質疑応答 (5分)	閉会



長崎性教育コミュニティ アスターは長崎の地に「包括的性教育」が根付くよう性教育の普及を行う団体です。2021年7月に設立されてから性教育普及のために活動してきました。その活動の報告と、『シンプル性教育 いっしょに話そう! くらす・はたらくに活かす「性」のこと』の著者である門下祐子さんをお招きして、障害のある子どもの「性」について参加者と一緒に学びたいと思います。



長崎性教育コミュニティ
アスター
活動紹介リンク

門下 祐子(かどした ゆうこ) 先生

修士(教育学)、博士(リハビリテーション科学)

京都教育大学教育総合教育臨床センター講師。

東洋大学福祉社会開発研究センター客員研究員、一橋大学非常勤講師、一般社団法人“人間と性”教育研究協議会幹事 他。

特別支援学校の教員として働いた後、早稲田大学大学院教育学研究科(修士課程)、筑波大学大学院人間総合科学学術院(博士後期課程)で知的障害児・者の「性の権利」を尊重した教育および支援に関する研究に取り組んだ。現在も研究を進めながら、執筆や講演活動、学校や社会福祉法人等で「性」に関する教育や支援のアドバイスなどもおこなっている。

著書に「シンプル性教育 いっしょに話そう! くらす・はたらくに活かす「性」のこと」(一般社団法人スローコミュニケーション)がある。



概要

障害のある人への性教育と聞いてどのようなことが思い浮かぶでしょうか。

障害のある子どもの保護者の方や、支援者の方からは「性について教えたいけれど、どう伝えればいいのかわからない。」「何から、どこまで、どんな風に伝えていいのかわからない」というような悩みをお聞きすることがあります。近年、子どもの人口は減少していますが、特別支援学校や特別支援学級、通級で支援を受ける子どもの数は増加傾向にあります。

「障害」とひとくくりになされがちですが、多様な分類や特性があり、支援も様々です。

だからこそ、多くの保護者や支援者が障害のある人への性教育の必要性を感じながらも、そこに困難さや苦悩を抱えています。

今回は軽度・中等度の発達障害/知的障害の「性」にスポットを当てて、門下祐子先生にご講演いただきます。

学校や家族、支援者だけでなく、社会全体で障害のある子どもたちの「性の権利」や「学ぶ権利」について大切にしていくために、共に学びましょう。

主催：長崎性教育コミュニティ アスター 後援：長崎県、長崎市、長崎市教育委員会